

SLiiC

サマー・ワーク・キャンプ 2016

9月10日(土)・11日(日) 10:00 - 16:30

白百合女子大 <http://www.shirayuri.ac.jp/>
京王線「仙川駅」から徒歩10分

9/10 午前 岩瀬直樹さん講演
午後 iwase + kaisaki × SLiiC ワークショップ
終了後、懇親会(会場にてケータリングを予定)

9/11 午前 調布を舞台にしたフィールドワーク
午後 SLiiC マーケット

参加費：1500円(一日のみの参加も同額になります)

※学割：500円

※ペア割：二人で2000円

(学校司書と教員の組み合わせでの申込)

懇親会費：別途3000円(予定)

申込受付(Webフォーム開設)：6月初旬を予定しています。
申込はWebのみとなります。
<http://www.sliic.org/>

岩瀬直樹さんのプロフィール

http://www.u-gakugei.ac.jp/~graduate/kyosyoku/a_about/04organization.html#iwase

小学校教員として、信頼に基づく学級経営、学級経営・校内研修・授業へのファシリテーションの活用、リーディングワークショップ・ライティングワークショップ、学習の個別化等の実践研究に取り組む(東京学芸大学教職大学院教員紹介より引用)

2015年4月より、東京学芸大学教職大学院准教授。

甲斐崎博史さんのプロフィール

小学校において、アドベンチャー教育をはじめとする体験学習法をベースにしたクラスづくり、授業づくり、学びの場づくり(子ども・教員両方)の実践研究に取り組む。

西東京市立栄小学校教諭、西多摩 PACE 主宰。

今年のサマー・ワーク・キャンプでは、敢えて「読書」を中心に据えたテーマ設定を行いました。学校図書館と読書は、誰にもイメージしやすいものですが、その定義は人によって文脈によって様々です。そもそも学校教育で行う読書というのは、私たちが気がついていない、もっと様々なパターンがあるのではないかと考えました。読書ではなく「読むこと」という言葉を使ったのはそれを強調するためです。

今年は信頼に基づく学級経営を始めとして学校教育の様々な教育実践を積み重ねてきた岩瀬直樹さんをお招きします。今年のサマー・ワーク・キャンプでは、まず、岩瀬さんが取り組んできた学校教育実践での「読むこと」を紹介していただきます。学校図書館に限らない「読むこと」とは何かを考えるきっかけになると考えています。その上で、学校の先生、司書教諭、学校司書、学生も含めて様々な方々が参加したワークショップを行います。学校教育において、どんな「読むこと」ができるかを、それぞれの立場が持つ強みを活かしながら、やりとりする時間とします。

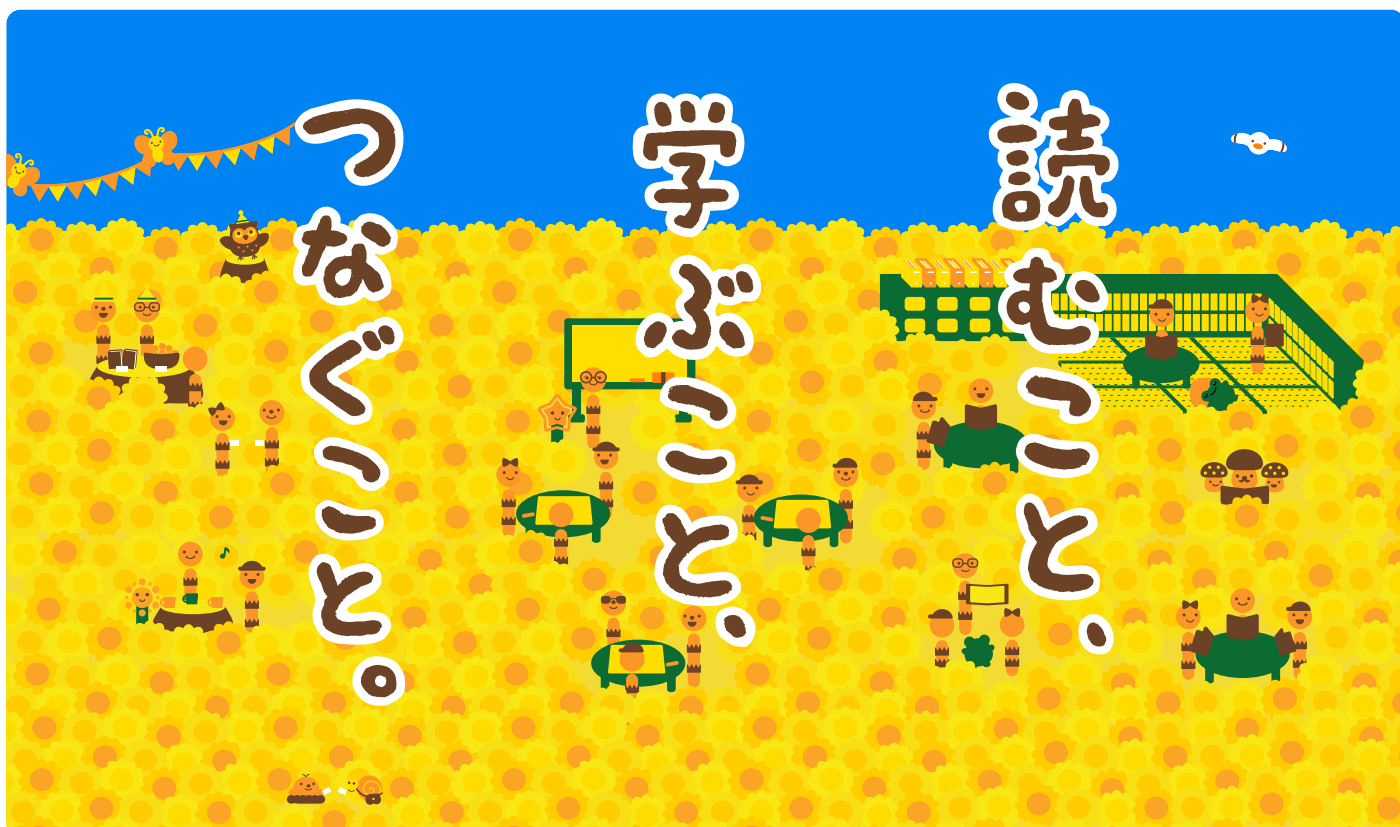
見方によってはどこにでもあるような普通の研修のように見えるかも知れませんが、でも SLiiC では、立場の違う人が一堂に集まって行う「学び」こそが重要だと考えています。

みんなが得意料理のレシピを発表し合いやりとりし、これまで作らなかった料理に明日から挑戦するようなそんな会を目指しています。学習や研修という言葉を使わず、「学ぶこと」、そして「つながること」という言葉を使ったのは、それが理由です。

初日の岩瀬さんにつづき、2日目のイベントも地域と「つながること」を目的とした調布地域のフィールドワークショップ、参加者同士と「つながること」を目的とした「帰ってきた SLiiC マーケット」と盛りだくさんのイベントを企画しています。どうぞご期待下さい。

最後に、多くの方が集まれるよう、今年のサマー・ワーク・キャンプでは、同じ学校から、学校の先生と学校司書さんがペアでお越しになる場合は、セット割り引きを導入します。(1日参加でも2日間参加でも同じ料金です)普段の学校では時間がなくて深められない話を、SLiiC サマー・ワーク・キャンプでやりとりしながら、立場を超えて考える時間と場が提供できればと考えています。

皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げます。

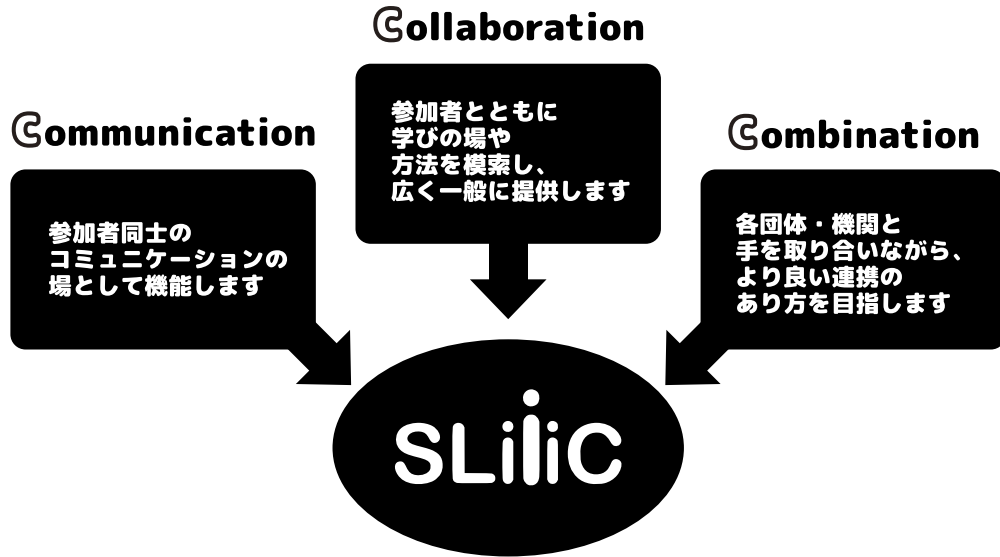


学校図書館プロジェクト・SLiic（スリック）は、学校図書館に携わる人々の支援を目指す任意団体として、2005年に結成されました。SLiicの正式名称は“School Libraries 3C=Communication Collaboration and Combination”です。3つのCを「iic」で表しています。

学校図書館は一人職場であることが多く、研修機会が限られていること、業務のノウハウや知識の引き継ぎがしにくいことなどが課題となっています。私達はそれらの問題の解決に貢献することを目標の一つに掲げて活動しています。

SLiicには、学校現場で働く学校図書館員（学校司書等）と学校図書館やWebに関心のある学生・研究者がスタッフとして参加しており、お互いの強みを生かして活動しています。

サマー・ワーク・キャンプは2006年から開催しています。毎年、他の研修会とは一味違うテーマを設けて実施しており、全国からも参加者が集うSLiicの恒例行事となっています。



School Library 3C [=communication, collaboration, combination]

岩瀬直樹さんのきょうしつの様子

